平成30年度(29年度実績) 総合評価書 <施設名 本土児童館>

1 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2 指定期間	平成28年4月1日 ~ 平成33年3月31日
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関する事。 2 児童館の維持管理に関する事。 3 目的外使用許可にかかる事務に関する事。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関する事。 5 事業評価に関する事。

4 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1 運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、 105%未満~95%:4点、 95%未満~85%:3点、 85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3)	開館時間中(10:00~18:00)、自由来館となっている。	-	
					平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(上記(2)適用にする) 【29年度】99%÷利用人数(延べ9,439人)÷9,573人			105%未満 ~ 95% 4点
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15~12点、 仕様書に忠実:11~9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、 それ以下:2~0点	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児対象事業(計63回開催、延べ1,247名参加) ・児童対象事業(計109回開催、延べ1,337名参加) ・多世代間交流事業(計4回開催、延べ682名参加) ・中高生事業(計9回開催、延べ41名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計35回開催、延べ498名) ※別紙:事業報告書 参照	仕様書以上 13点	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書の事業をすべて目標回数以上行い、適正に実施した。 ・母親クラブが活動を開始したため月1~2回母親クラブの行事が行われた。 ・地域や他団体と連携を図り取り組んで実施している。 ・年々増える一輪車クラブ希望者の要望に応える為、遊戯室を最大限に利用できるようエレベーターや机の配置を工夫した。 	13点	
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点 例年通り:11~9点、 例年よりやや劣る:8~7点、 例年より劣る:6~3点 例年よりかなり劣る 2~0点	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児対象事業(計53回開催、延べ862名参加) ・児童対象事業(計56回開催、延べ561名参加) ・多世代間交流事業(計81回開催、延べ867名参加) ・中高生事業(計3回開催、延べ77名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(実績なし) ※別紙:事業報告書 参照	例年通り 10点	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会の特性を活かした自主事業を行った。 ・地域の特性を活かした事業を目標回数以上行い、適正に実施した。 ・地域行事に参加したり、高齢者との交流など多世代交流に積極的に取り組んだ。 ・近隣の施設との交流を積極的に行った。 	10点		

4 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	・通常清掃:日常清掃 ・駐車場清掃実施、屋上清掃を年2回実施 ・マットクリーニング年1回実施	適正(普通) 2点	適正に実施した。	10点
			②保守・点検			電気工作物、運動器具の点検は、業務委託により実施。	適正(普通) 2点	適正に実施した。	
			③保安・警備			・非常通報装置消防用設備の保安点検は委託により実施 ・夜間館内警備については委託により実施	適正(普通) 2点	適正に実施した。	
			④小規模修繕			①玄関踊り場部分屋根修繕 32,400円 ②図書室蛍光灯修繕 16,919円 ③床隙間、傷補修 随時職員が補修 ④トイレ衝立設置工事 市役所負担 ①~②については、10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕を行った。	適正(普通) 2点	・修繕が発生した際は、遅滞なく対応している。 ・床のささくれ、削れなど日常補修している。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・毎月1回職員による安全点検、業者による遊具の点検実施 ・児童館の傷みも激しいため、日常業務の中で危険箇所を把握し対処している	適正(普通) 2点	適正に実施した。	
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	文書目録に基き管理している。	適正(普通) 2点	文書目録に基いて管理している。	11点	
		②環境への配慮			・多治見市の環境方針に準じ対応 ・飲食に伴う行事の時は、箸やお椀を持参してもらうなど、廃棄に配慮している。 ・使用済みの封筒の使用、個人情報に注意し、裏紙の再利用、Eメールでの対応、資源ごみのリサイクル実施に配慮している。 ・冷暖房の使用時は適正温度に設定し、環境に配慮している。 ・プールの水で打ち水をし、暑さ対策をしている。雨水を花壇などに利用している。 ・工作材料は牛乳パック、ペットボトルなど再利用に心掛け実施している。 ・昼休み時消灯に努めている。	適正(普通) 2点	環境への配慮を多く行っていることは評価できる。		
		③バリアフリー			・床のささくれ、削れ、隙間部分を転倒防止のため随時修繕 ・トイレの水道の蛇口を交換(バリアフリー仕様) ・トイレ洗浄ボタンの改善(小さい子でも押せるよう工夫し改善) ・福祉体験を行うことによる啓蒙活動	期待以上 3点	各種対応や啓蒙活動を実施しており、期待以上		
		④備品管理			備品台帳に沿って管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施した。		
		⑤個人情報保護			・社会福祉協議会として「個人情報保護管理規程」を制定し、適正に管理。 ・重要な書類は、鍵のかかるキャビネットで保管している。	適正(普通) 2点	適正に実施した。		
		⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等の対応に不備あり:△1点	特になし		事故なし・対応に不備なし 0点
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満~100%:4点、100%未満:3点	指定管理委託料の範囲内で適正に事業が行われた。 10,778,350÷8,290,079=130%	105%以上 5点	・指定管理委託料内の範囲内で適正に事業が行われた。 ・職員配置に伴う人件費により、黒字となった。	5点	

4 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10~8点、 適正(普通):7~5点、 不備あり:4~1点	・アンケートボックスを設置して随時、意見を受け付けるとともに、クラブ・行事等後にその都度アンケートを実施している。 ・少数意見も取り入れ、希望に沿うよう配慮している。	期待以上 8点	・乳幼児クラブ及び自由参加型事業では、アンケートや要望を聞き、次年度に取り込むことで対応している。 ・年々増加する一輪車クラブ入会希望者の希望に沿えるよう、遊戯室の物を移動したり、片付けたりして安全に考慮し最大限の人数を受け入れるよう努力している。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3~1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし	苦情なし・適正(普通)4点	社会福祉協議会として、苦情申出窓口を設置し、苦情対応責任者、苦情受付担当者、第3者委員を設置している。	4点
	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15~12点、 適正(普通):11~9点、 普通未満~物足りない:8~0点	・母親クラブが立ち上がり1年目の活動のため、円滑に行えるよう支援をした。 ・他館との連携事業も多く、館同士の交流も盛んに行っている。 ・社会福祉協議会の特性や総合福祉センター内障がい者福祉センター、母子福祉センターとの交流事業を実施した。 ・同指定管理児童館で共催事業を行い、校区外の親子の交流を図っている。 ・講師を招いて実技研修(工作・一輪車・防犯訓練・AED・支援児について)、職員研修(社協全体研修・東濃ブロック研修・各館持ち寄り体操や作品交流研修)を実施した。 ・毎月1回 代表者会議、年2回 常勤会議を実施し、各館との交流・ヒアリングなど周知している。 ・館内、館外の整備(猫の糞害、遊戯室の床修繕など)を行い、環境整備を図った。	期待以上 15点	・29年度より母親クラブが設立し活動を始める事ができた。円滑に行えるよう支援をした。 ・一輪車クラブ入会希望者の希望に沿えるよう、遊戯室の物を移動したり、片付けたりして安全に考慮し最大限の人数を受け入れるよう努力した。 ・施設の構造上、他館と比べ運動遊びをしづらい環境にあるが、切り絵、工作など月数回設定し室内遊びを充実させている。 ・職員研修を通して、個々の資質や事業運営のスキル向上を図った。 ・発達支援センター研修は乳幼児クラブに生かされ職員のスキルアップに繋げている。 ・7館同事業にファミリーの参加が目立ち、父親参加の足がけとなった。また、児童館を知らない方への周知にもなった。	15点		
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施した。		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施した。		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討44点以下		・概ね良好な管理がなされている ・29年度は母親クラブを立ち上げている点を評価	84点 良好	